

新年



東庄町長
岩田 利雄

笑顔いっぱいの笹川幼稚園児と町長

地域の宝を 地域の力で次世代へ

新年あけましておめでとうござい
ます。町民の皆さまには、新春を健
やかに迎えのこととお慶び申し上
げます。

昨年は、第6次東庄町総合計画を
始動し、各種施策を展開してまいり
ました。また、4月には国から過疎
地域に指定され、自立促進計画を策
定した年でもありました。

本年は国の過疎対策等を活用し、
スピード感をもって、各種施策を実
行に移してまいります。

基本方針として、協働によるまち
づくりの重要性と、住民が活力をも
って暮らしていけることを第一にす
え、今後の大きな課題である人口減
少に伴い、地域の宝である子どもた
ち、子育て世帯への一層の支援を図
ってまいります。

保健福祉の分野では、各種健康増
進事業等を引き続き展開し、町民の
健康、病気になるない施策を最重要
課題の一つとして取り組みます。

教育の分野では、子どもたちの学
力向上を目指すとともに、小学校の
統合に向け、確実に準備事務を進め
てまいります。さらに、老朽化した
学校給食センターについても整備を

進めてまいります。

社会基盤の分野では、生活道路の
きめ細やかな整備により利便性や安
全確保の向上に努め、国道356号
や北ルートを整備促進を国、県に要
望してまいります。

町の基幹産業である農業の分野で
は、認定農業者の育成や集落営農、
農業法人化の推進などを支援し、遊
休農地の活用や担い手の確保につな
げます。また、本町の付加価値の高
い農産物のPRや、6次産業化に取
り組むなど、農業の収益性向上を支
援します。

「すべては町民のため」、まちづく
りは住民一人一人を大事にすること
が基本です。

住み続けたいと思う人を大切に、
地域の宝を地域の力で次世代へ繋ぐ
まちづくりの実現を目指し、町民の
皆さまのご協力をいただきながら、
議会と手を携え、邁進してまいり
ます。

結びに、本年が町民の皆さまにと
って明るく幸多き年となりますよう
ご祈念申し上げ、ごあいさつとさせ
ていただきます。

謹賀

東庄町議会議長

城之内 一男

元気いっぱいの橘幼稚園児と議長

安心して暮らすことが できる地域の実現を図る

新年あけましておめでとうござい
ます。町民の皆さまには、明るく希
望に満ちた新春をお迎えのこととお
慶び申し上げます。

平素町議会に対し、ご支援ご協力
を賜り心より感謝申し上げます。臨
時議会において議長に選任され、就
任いたしました。議長の責務と議会
の果たすべき役割を十分認識し、町
民の負託に応える、町民に開かれた
議会をめざし誠心誠意取り組んでま
いります。

昨年は第30回を迎えたふれあいま
つりが盛大に開催され、各施策も滞
りなく執行されました。町民の皆さ
まのご支援ご協力の賜物と感謝申し
上げます。

わが国の社会経済状況を取り巻く
環境は、人口減少、高齢化社会の到
来、高度情報化社会への急速な進展
等、大きな変化に直面しております。

顧みますと近年、大規模な自然災
害が多発し、各地に甚大な被害をも
たらしております。自然災害の脅威、
防災減災対策の充実強化の必要性を
感じた年でもあります。

町政の前途にも幾多の重要問題が
山積しています。急速に進む人口減
少、少子高齢化の中、過疎地域自立
促進計画が策定されました。過疎地
域自立促進のためには、住民が将来
にわたり、安心して暮らすことがで
きる地域社会の実現を図ることが大
事であり、地域住民と自治体が自律
的で持続的な自立できる地域を創出
するため、町民こそって英知と情熱
を結集し、創意工夫を発揮し、地域
の特性を生かした地域づくりを推進
する必要があります。

町の未来を担う子どもたちの教育
環境の整備充実が喫緊の課題であ
り、平成32年度の小学校統合が決定
し、給食センター建設、幼稚園の統
合等計画されている中、課題は多々
あります。議会の役割と使命を十分
自覚し、責任を果たすべく検討して
まいります。

結びに、町民の皆さまのご支援を
お願いするとともに、皆さまのご多
幸とご繁栄を祈念申し上げ、新年の
ごあいさつとさせていただきます。